

2023年10月5日(木)14:00~15:30 ハイブリッド開催(セリオホール・ZOOM)
第15回 ワールド・カフェ♪~地域で生きるために~
「これからの人生会議」

令和5年4月1日から『本人の意思を尊重した救急活動の実現』神戸市消防局DNARプロトコール運用開始して半年が経過しました。

今回は、西区の運用状況について担当者からお話を伺い、後にワールド・カフェ形式にて「これからの人生会議」についてグループディスカッションを行いました。13職種44名の方にご参加いただきました。



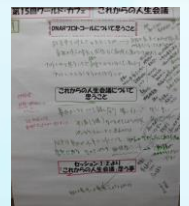
座長: 西区医師会副会長 中神クリニック 院長 中神祐介氏

1部: 講演「神戸市消防局におけるDNARプロトコールの運用について」

神戸市西消防署消防防災課 救急係長 藤田健吾氏

内容: DNARプロトコール作成に至る経緯、現状報告、西区の事例紹介
救急現場における問題・課題等

質疑応答(一部紹介): 救急車を呼んだ時、同席家族が未成年者しかいない時の対応は?
→ 未成年者以外の家族に連絡を取る。連絡が付かなければ心肺蘇生しながら搬送



2部: ワールド・カフェ「これからの人生会議」

1ラウンド: DNARプロトコールについて思うことは?

2ラウンド: これからの人生会議について思うことは?

3ラウンド: ①②ラウンドより、これからの人生会議について思ったことは?

* 今回のご意見は、第13回多職種連携事例検討会へ反映します。



【参加者からの感想】(アンケートより)

医師) ・ ACP、まずは明るく楽しく進めていく

看護師) ・ 人生の最期をどのように迎えたいかについて、患者・ご家族様と話す大切さを再認識できました。今後の看護に活かしたいと思います

・ ACPのパンフレット「わたしのこれから」を活用したい

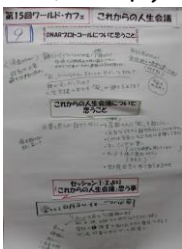
リハ職) ・ ACPが当たり前前に浸透すれば、救急車の要請件数は減り、本人・家族の望む最期が迎えられるとことを知れました

MSW・PSW) ・ 日頃からケアマネや訪問看護師との連携を重視したいと思った

ケアマネ) ・ 救急隊の方が大変な思いをしてきて、DNARプロトコールが運用されたことがよくわかりました

・ 人生会議は最終段階ではなく、もっと前から話すことの大切さについて認識できた

・ 沢山の方と話す機会が持てるのは有難いです。それぞれの立場で物の見方の違いがわかり、勉強になります



~多数のご意見ありがとうございました~